

美山川・やすらぎの川づくり計画

参 考 資 料

平成21年3月

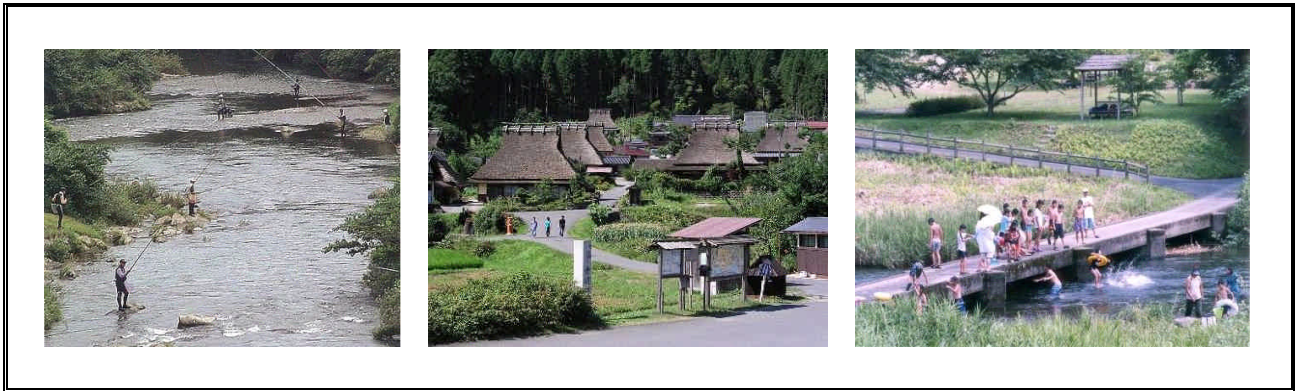
京都府 南丹土木事務所

参 考 資 料 目 次

1) 美山川・やすらぎの川づくり検討委員会の概要	参 1-1
2) 地元ヒアリング議事録	参 2-1
3) アンケート調査結果	参 3-1
4) 新聞記事	参 4-1
5) 現地写真集	参 5-1
6) 調査・検討結果（図表）	参 6-1

1) 美山川・やすらぎの川づくり
検討委員会の概要

美山川・やすらぎの川づくり検討委員会 ～ 設 立 趣 旨 ～



- 由良川の上流域にあたる美山川流域は、手つかずの自然が多く残されているとともに、日本の原風景を今も伝えるかやぶきの里をはじめ、歴史・文化に恵まれた地域である。
- この地域の中心を東西に流れる美山川は、清らかな流れとともに多様な動植物の生息環境であるなど水と緑の豊かな自然環境を育み、またアユ釣り、カヌー、水泳など川との直接的なふれあいを楽しむ利用が積極的に行われている。
- また、美山のアユはかつて北大路魯山人が絶賛したと言われており、今はダム等により天然アユの遡上はできないものの、アユの放流が盛んに行われ、流域の歴史・文化資源とともにこの地域の貴重な観光資源と言える。
- 一方で、美山川には8箇所落差工や堰があり、一部には魚道が整備されているものの機能していないなど、魚類等の上下流の移動の妨げとなっている。また、近年の土砂堆積等により中州の発達や陸化、瀬や淵の減少が見られ、さらには沿川の植物の繁茂により、川や川原に近づける場所が少なくなっているなどの課題が見られる。
- このような現状を踏まえ、美山川の水と緑の豊かな河川環境を保全再生することにより、魚類をはじめ多様な生き物にとって、さらに訪れる多くの人々にとっても、“やすらぎのある美山川”づくりを進め、ひいてはこの美山川の魅力をいかしたまちづくりへと期待するものであり、整備の内容や進め方等の検討に当たり、歴史・文化、環境、河川、地域振興等の幅広い観点から意見や助言を得ることを目的として、有識者等からなる検討委員会を設置するものである。

美山川・やすらぎの川づくり検討委員会設置要綱

(名 称)

第1条 本会は「美山川・やすらぎの川づくり検討委員会」（以下「委員会」という。）と称する。

(目 的)

第2条 美山川の河川環境整備計画の策定にあたり、河川、環境、地域振興等の観点から協議、検討し、意見を述べることを目的とする。

(委 員)

第3条 委員会は、別紙委員名簿に掲げる委員により構成する。

2 委員は、京都府南丹土木事務所から委嘱する。

3 委員の任期は、研究会の目的が達成したときまでとする。

(委員長)

第4条 委員会には委員長を置く。

2 委員長は、委員の互選により選出し委員会を代表する。

3 委員長が不在となるときは、委員長があらかじめ指名する委員がその職務を代行する。

(会 議)

第5条 委員会の会議は委員長が招集する。

2 委員長は、委員会の会議の議長となる。

3 委員長は、必要があると認めるときは、委員以外の者の出席を求め意見を聴くことができる。

4 会議は、原則公開とする。

(事務局)

第6条 委員会の事務局は、京都府南丹土木事務所に置く。

(その他)

第7条 この要綱に定めのない事項については、必要に応じて別に定めるものとする。

附則

この要綱は平成20年10月30日から施行する。

美山川・やすらぎの川づくり検討委員会
～ 構 成 ～

(順不同、敬称略)

	所 属 等	現職・氏名
学識者		
	河 川	舞鶴工業高等専門学校 教授 川合 茂
	環 境	佛教大学教育学部 教授 北川 治
地 元		
	美山まちづくり委員会	委 員 長 柿迫 義昭
		副委員長 末武 千鶴子
		委 員 大澤 則子
	美山町環境保全対策協議会	会 長 松田 茅里
	美山漁業協同組合	代表理事組合長 上林 実
	南丹市婦人会美山支部	支 部 長 中島 良江
	美山町女性の集い連絡会	会 長 中西 多嘉子
	知井振興会	生社部長 大萱 安雄
	平屋振興会	会 長 中西 幸男
	宮島振興会	会 長 北川 正雄
	鶴ヶ岡振興会	地域振興担当 上西 良治
	大野振興会	産業部長 大久保 登
	美山町観光協会	会 長 武田 晏和
オブザーバー	南丹市議会議員 (産業建設常任委員会副委員長)	小中 昭
	南丹市議会議員 (産業建設常任委員会委員)	村田 正夫
行 政		
	南丹市美山支所	健康福祉課長 原田 朱美
		産業建設課長 村田 捻夫
	京都府南丹土木事務所	所長 中村 敬二
事務局	京都府南丹土木事務所 河川砂防室	
関 係 機 関	京都府南丹広域振興局 農林商工部企画調整室 副室長 山上 義人	

第1回 美山川・やすらぎの川づくり検討委員会 議事録

日 時：平成20年10月30日（木）14:30～16:00

場 所：南丹市役所美山支所 大会議室

出席者：委員13名（欠席2名）、報道機関1社

<結 果>

- * 委員長に川合委員を選出
- * 事務局から提示した堰等による縦断方向の分断の改善、土砂堆積への対策、親水性の確保など、美山川の現状と課題及び整備の考え方を基本として、今後、具体的な整備の内容等について検討していく。

<主な意見等>

- * 美山川の源流域では、土砂堆積や鹿の増加によって下草が減少し、最近は雨が降るとすぐに川が濁るように思う。また、水質保全には農地や集落からの排水対策も必要であり、美山川の環境を改善しようとするには、山、里、川に至る総合的な観点で考えていく必要がある。
- * 川だけにとらわれず、地域の歴史、文化、環境、まちづくりなど、様々な観点で意見を出し合い課題を共通認識とし、今回の河川整備と地域での環境保全活動が連携して、取り組んでいかなければならないと思う。
- * 今回の検討対象区間は美山川の一部に過ぎないため、この取り組みを契機にさらに上下流への広がりを期待する。
- * 美山川の整備を考える時、かつての美山川の姿がどうであったかを把握する必要がある。そのためには、昔から地域に住まれ美山川の移り変わりを知っておられる方々などより多くのご意見を伺うことも重要。
- * 地域の人々にとっては、川底の石が見えることは当たり前のことでも、都会から来られた方々には不思議なことであるらしい。改めて美山川の美しい環境を地域の宝物として守っていかなければと思う。
- * 地域の美しい自然や景観にふれるために多くの人たちが訪れることは、その地域の元気にもつながる。川にふれられ周辺の環境とも調和した河川整備をお願いしたい。

第2回 美山川・やすらぎの川づくり検討委員会 議事録

日 時：平成21年1月29日（木）14:30～16:00

場 所：南丹市役所美山支所 大会議室

出席者：委員11名（欠席4名）、報道機関1社

<結 果>

- * 事務局から提示した本事業における取り組みの方向性、および堰・床止めの遡上改善、瀬・淵の創出、河原の再生、親水性の確保に関する整備計画案について概ね了承が得られた。
- * 今後、整備計画書を取りまとめると共に、事業の進め方等について検討していく。

<主な意見等>

- * 現地調査結果における魚の名称は、馴染みが出るように地域に密着した名前を用いてはどうか。
- * 美山町には13箇所の水泳場があるが、土砂堆積によりかつて飛び込みができた淵も今は飛び込めなくなるほど浅くなっている。
- * 過去に撤去された橋梁の橋脚基礎部が川の中に残されているところがあるが、これについても撤去を行い、元の自然な川の状態に戻す必要がある。
- * 砂州は50～150年かけて動くものである。整備を行う箇所は、砂州の移動傾向を十分に考慮し、整備後においてもその変化を見守りながら対応していく必要がある。また、川の中のを全部綺麗に撤去するのではなく、川に残すべきもの（巨礫や隠れ場等）は残す必要がある。
- * 川と森林は密接な関係にあるため、堆積土砂の除去と森林の保全は、並行して対応すべきである。
- * 親水性の確保により、北集落前を決して公園化してはならない。地元の意見をよく聞き、整備後のイメージを想像しながら整備内容について十分に検討していく必要がある。
- * 本事業（堰・床止めの遡上改善、瀬・淵の創出、河原の再生、親水性の確保）による治水への影響については十分に検討する必要がある。
- * 本事業は、生物の観点から考えたもので、非常に興味深い。また、景観や地域振興等、ソフト面を整備にいかにか活かすかがポイントとなる。
- * 地元が協力して、入川道の整備、雑木の伐採、生物調査など、共同作業してはどうか。また、工事途中で見学会を開催するなど、工事のねらいや目的等を住民に解りやすくアピールすることが重要である。

第3回 美山川・やすらぎの川づくり検討委員会 議事録

日 時：平成21年3月16日（月）14:30～16:00

場 所：南丹市役所美山支所 大会議室

出席者：委員13名（欠席2名）、報道機関1社

<結 果>

- * 事務局から提示した「美山川・やすらぎの川づくり計画(案)」について、概ね委員会の了承が得られた。
- * 今後、この計画に基づきワークショップ等を通じて、地域の意見を十分聴きながら、事業を進めていく。

<主な意見等>

- * 堆積土砂を除去すると、川が変化してしまうので、整備を行うときは皆で議論しながら慎重に考えていかなければならない。
- * 整備の途中段階においてもモニタリングを実施し、常に効果を検証しながら次の工事に反映させていく必要がある。
- * 川の変化が、工事の影響か自然の変化なのかを見極めるために、長期にわたりモニタリング調査を実施していかなければならない。
- * 北集落前の親水性の確保においては、決して人工的にならないように注意し、地元の意見を十分に聞きながら計画を立てる必要がある。
- * 工事は、アユの放流時期も考慮して進めていく必要がある。
- * 知井振興会では、観光客にかやぶきの里から奥へ行ってもらう手だてとして、府の再生プロジェクト事業で、里市、観光パネル等の施設を作り、一般公募して名前を付けた。これらの施設も有効活用していきたい。
- * この整備計画を地域の発展にどのように繋げ、活用していくかが重要である。

以上

● 「美山川・やすらぎの川づくり検討委員会」の実施状況

第1回



第2回



第3回



2) 地元ヒアリング議事録

3) アンケート調査結果

アンケート調査結果

アンケート対象者	配布数	回収数		調査方法
①釣り客	—	158	27 (8/1)	調査員による聞き取り
			55 (8/2)	
			76 (8/3)	
②河鹿荘利用者	100	10		地元支所による配布・回収
③地域住民	200	67		
合計	—	235		

※河鹿荘利用者は、地元支所回収分のうち居住区域が美山町以外を計上した。

- ・釣り客への聞き取り調査 : 平成20年8月1日(金)～3日(日)
- ・地元支所による配布・回収 : 平成20年8月4日(月)配布～9月5日(金)回収

美山川に関する意見 (1/5)

◆美山川の環境について

河川の環境が悪化しているように感じる。(10年前に比べて)上流部でヨシ原等の伐採がされてから悪くなったのではないかと。
良い川なので、現在のアユの生息する姿を残して欲しい。
美しい山の川にして欲しい。 「美山川 清涼の里 釣山河」青ちゃんという俳句をつくるくらいこの美山川を愛している。
美山川はいつもキレイに保たれていて良い。
子供の頃から来ている。魚は減ってしまったと思う。ゴミを持ち帰る様にしてほしい。
昔に比べて川がくずれれてきているのが悲しい。
釣り客が減ってきている。
言うことない。よい環境。
環境を守ることは南丹市民一人一人の大きな責任である。自分一人位がこれ位の気持ちを自分一人がこれは絶対に実行する気持ちを忘れないこと。聞くところによると美山川上流本線の支流ではかなりの汚物を支流川に流しているとの情報も耳にするので、その様なことのない様心がけていただきたいと願う。河川は人にとって大切なものであるから。
美山川を美しく日本一の川に！そして日本中が美しい川に！地球上の川が水が美しくなるよう良い川づくりの為に確かたる前進を!!自然(神)の怒りを鎮めよう、地球を滅亡から護ろう！いま、生きる人間の責務として!!

◆美山川の利用について

入川しやすい川づくりをお願いしたい。
河川敷の利用(ゲートボール場など)できる広場をつくることなどには賛成。ヨシを生やしているよりもいい。ゲートボール場をつくるだけなら自然を損なわないだろう。
入り口をふやして欲しい。 車を止める所(一応お金を払って来ているので)があったらいいな。決まりごとをきっちりして管理をして欲しい。年券を買ってもかくにんがない。
車で川に入りやすいように草刈りなどをして欲しい。 (入川道の整備等をして欲しい)
川に近づけるところが増えて欲しい。 トイレが少ない。
水質の安全性などをもっと一般にわかりやすく提示してくれるとより安心して利用できる。 できれば毎年子供をつれてきたい。
この土地で育ったので、今も利用している。 今後、子供が大きくなって大人になった時にも、今と同じ様に利用できればいいなあと思う。
田歌～芦生間の道路から川までの落差がある所の道の整備を希望。
美山川より良いレクリエーションの場となることは大いに結構な事である。その事によって地域が活性化され、町内外の交流が促進されることがのぞましい。同時に治山治水の問題とも深いかわりあいがあり、町内外の人(特に京都府民)全体に利益をもたらす事になるのだから、地元負担のみに頼るのではなく、公的な事業として行われるべきものと考え。従って基本的には国や地方自治体の手による公共的な施策であるべきである。

◆美山川の整備について

川は何も手を入れず、自然のままが良い。
自然に置いて欲しい。 ダム、堰等をつくらなくていい。 自然のままがいい。
川でキャンプをして欲しくない。後でゴミが多く残っていたりするので、流れてくる土砂が多いので。ダムには反対。
川はあまり手を加えない方がよい。ダムは反対。 砂が多い状態なので、堀削等をして欲しい。
昔(40年前)に比べれば、川の姿が悪くなった。 生物のすみやすい川にして欲しい。
できるだけこのままの自然を残して欲しい。護岸等はつくらなくて欲しい。手が入らない状態の川をまもって欲しい。ダムなども反対。
美山川に通って45年。 土砂の堆積を何とかして欲しい。(淵がなくなっている)
川に下りる道を整備して欲しい。
ホタルがいらないような護岸にすべき。 お金のことだけでなくもっと考えたものをつくるべき。 コンクリートで簡単につくるだけじゃ意味がない。
川はあまり手を入れない方がよい。 できるだけ自然のままがよい。

美山川に関する意見 (2/5)

土砂を撤去することには賛成。
自然を残した改修に取りくんで欲しい。
川をよくするという整備には賛成します。
土砂をとってもらえるなら100万円出してもいい。
前までは川を渡れないくらい深み等があったが今はない。
道路工事はいらぬ。
土砂堆積を解決してほしい。
あまり人の手が入らないようにして欲しい。
ごみを持ち帰らないのは理解できない。とりしまり強化。
自然のまま、現状のままが1番よい。
手が増えると、キャンプ場みたいになってしまうから。
無駄なものは作らない方がよい。
自然のまま、美しい川にして行ってほしい。
ゴミもないし、魚が減るなどの自然を壊すのは反対です。
このままが1番！
自然はそのままでも十分だと思う。手を増やさないでほしい。
今までの自然を出来るだけ残した上で、子供達が水辺に親しめるスペースをもう少しだけ整備するとよいと思う。
出来るだけこのまま残してほしい。
入川道の整備をお願いしたい。
このまま、自然を維持する。
この美しさを維持する。
自然のままにいてほしい。
人の手を増やしても自然はなおらない。
魚道の形をもっと考えるべき。
今のままでは魚がのぼれない。
自然環境の維持・保全。
今のままきれいに維持する。
動物・生物が多い川にして欲しい。
川の整備をしていい川にして欲しい。
川のきれいな所に水泳場をつくってあげるといいのではないかな。
みんなが来て楽しめる河川にして欲しい。
でも人が入りやすすぎると釣りには困るので、ほどほどに。
現状維持。
過度の環境地化はやめてほしい。(今のままでいい)
自然の良さや災害は隣どおし。
例えば、神戸の鉄砲水のようになりたくはなからう。
釣りシーズンでは、地元の住民に迷惑をかける事もあるので、気をつける様にしている。
農学への水質資源利用も大切だと思うが、可動式のえん堤の採用など、もっと自然留意した、自然と調和する人工物の設置をしてほしい。
人工の手を増やせず、ゴミ等の掃除する程度にしてほしい。
自然破壊せずに、この現状が1番良いと思う。
自然をこのまま保つ方が賛成。人が遊びやすい環境を作るとどこかに無理が生じるので。
自然なまま残す方がよいと思う。
きれいな川をいつまでも維持してほしい。
きれいで自然な川でいいと思う。
自然はこのままが1番良いのでさわらないで下さい。
川はあまりいじらないでいいと思う。
ヨシ(河原の)を刈り取ってほしい。ブド(虫)。
20年前から比べると水質が悪くなっているので、土砂等を入れないで欲しい。土砂は撤去して欲しい。原生林を守って欲しい。
美山川は大変美しい川ですが、年々荒れてきていることを実感します。何とか年配の方から聞く様な昔の美しい美山川の復活を願います。
鮎が釣れる河川。
入川道整備、河川の土砂のサイシュを行い、利用者にとっては利用しやすい、魚にとっては生息しやすい河川に。
コンクリート両面張の工法から脱却すべき。
高低差があり、入川できない所に入川道を設けることが必要。
また、子供たちが遊べる川であってほしい。そのためには、水深のある所や飛び込みのできる岩などバリエーションのある川づくりが必要。
河川の整備が自然も大切にしながら実現されることを願っています。
人工河川ではなくて、自然のままにいいのではないのでしょうか。

美山川に関する意見 (3/5)

美山川の自然環境を守り続けてほしい。
これ以上無駄に川をいじる事をせず、護岸工事された所を出来るだけ自然の形にもどしてほしいと思います。
美山川を活用して地域振興を図るのはよいが、自然をこわさないよう、工事は最小限にして欲しい。(美山川を愛する者の一人として)
1. 美山川の本流へ流れている谷の砂防エンテイの土砂の取り除き。 2. 現在使用していないエレ堤の取りこわし、五波谷、室ヶ谷。 3. カヌーやラフティング等昔からない遊び等は適当にやらせないで川線が汚れるばかりだと思う。
大事な事ではあるけれど、土砂をとりせめて5~6年前位の川の状態にしていかないと、美山川自体がなんの魅力もなくなってしまうと思います。
生態系を乱さない為に人工構造物は不用と思う。魚道等は、しかるべき学者やプロに相談して、本当に良い物なら設置してほしい気もする。
昔のように深い淵がある川になったら、より魅力的な川になると個人的に思います。 川岸をあまりにも整地してしまうのもどうかと思います。この川の魅力は、護岸工事が少ない所であると考えていますから。
観光やあゆみでは地域として生活が出来ない。もっと治水、安全等にもっと力を入れるべきである。
全国的に河川環境の悪化が進行して居る中、今回の京都府の取組みで、河川整備事業計画が立ち上げられました事について我々美山町に住む者に取って大変喜ばしく、又活気的な事であり、是非実現してほしいと思います。
南丹市の貴重な財産である美山川が魚が多く住み、多くの観光客が訪れる美しい清流が保たれる事を期待して居ります。此の事は住民一人一人の願でもあろうと思居ります。どうぞ宜しくお願い申し上げます。
川の水量も年々減少して川がよごれてきている。河川改修だけでなく、根本的な川の在り方について考えてほしい。
戦後から現在までやってきた河川改修が本当に正しかったのかどうか？ 川に魚が泳ぐかつての川の姿がもどってほしい。山と川、自然をもっと大切にしてほしい。
自然環境の変化とは言え、以前の様に澄みきった川の中は限られてきました。何とか昔の様なきれいな川に戻れることを地域はもちろんの事、皆んなで守っていくことができないものでしょうか。 砂で埋められた堰堤の砂を取り大きな石は上流部へ戻す事により淵が出来、急瀬が出来るのではないかと、上流部に戦後作られた砂防堰堤の砂取りも必要であると思う。現在も作り続けているダム堰堤はもういらぬ。
知井地区より下流なるにつれ、汚れがよく目に付く。自然環境を守ると共に護岸工事等整備に魚等の住む美しい美山川を守ってほしい。
活山、治水大切な事と思う。しかし、釣りやレジャーの為に人工的改修は不自然になる。 土砂の堆積を取り、よしの伐採は治水為にはよいと思う。必要最小限の改修、人間の為の改修ではなく生物の為の改修にすべき。決してバラマキ公共事業とならぬ様に!! 本当に必要かどうか確認しながらしなさい。予算の為の事業にならぬ様に!!
現在利用されていない堰等の撤去。 鳥獣(特に鹿)による山間植物の被害により降雨時の土砂流出が近年多く思う。

◆美山川の水質について

援助金を増やして欲しい。水質—公共施設が悪い。 キャンプ場、個人浄化槽がよくない。タレ流し→水質悪化。 土日・祝日連休中等人が多い時においもする。
合成せんざいを使わないような運動を進めて欲しい。土砂の堆積を何とかして欲しい。
きれいな川を維持してほしい。
今以上に川が汚れないようにして欲しい。
今のきれいな川を維持して欲しい。
流量が少ない。
もう少し水がきれいになってほしい。
水質改善を望む。
最近前は違って川が年々、汚くなっている様に思う。
最近、特に川の汚れが気になる。特に夏場…。 昔は、子供が川で泳いでいても、安心だったが、最近は、逆に、川で泳いだ後はシャワーをすすめる様になった。
20数年しか生きていない私からしても美山川は以前より汚くなっていると思います。「美山せっけん友の会」の活動がこれからもずっと続いてほしいです。高知県の物部川など全国各地でいろんな取組がされているのを参考にしつつ、世界で一番美しい川を目指して、美山町住民の命の源「美山川」を次世代に引き継いでいきたいものです。

美山川に関する意見 (4/5)

◆美山川の川づくりについて

法整備をしっかりして欲しい。利権が多すぎ。
土手は府、河川は国土交通省と一体となった整備をして欲しい。
山に広葉樹を植えて欲しい。
農業が農地を守り、林業が森林を守るがごとく漁業が河川を守るのでは。業が成り立つ美山川として生態系の保護のため行政としてできること、成すべきことを明確にして民との協働を図ってほしい。
アンケートの内容を見ると、コンセプトが業務委託先にうまく伝わっていないように思われるが。
清流美山川は美山町の観光のメインでもあります。
美しい川を守るため、府や市だけでなく、市民も一緒になって検討していくことが大切である。
私が美山川を見る事になって35年になりますが、当時の水は本当にきれいでした。一時期とてもひどい状態になり子供達を川で泳がせられないと思う程でしたが、浄化槽のお陰でずいぶんきれいになって魚の数も種類も増えたと思います。しかし、それでは川で遊ぶかと言えば、散歩すら、難しい状況です。川がみんなのものになったら、それはとてもいい事ではありますが、それによる経済的負担には限度があり安い方がいいです。その為には、事業を起すとしたら、関係者は十分話し合い納得の上で進められますように…。
美山の宝は美山川です。その次がかやぶき屋根です。漁協も大切な美山川の守り手として組合員と共にがんばってほしい。
美山川の事を考える時、山の状況を切り離して考える事は出来ません。山の手入れと両輪となり水環境を考える事が大切です。又水田からの水路もコンクリートから以前の草の生えた水路に戻すなどの配慮も必要。上流地域の住民が川の状況に関心をもって生活しないと川の自然環境はすぐにこわれてしまいます。
私が知っている美山川はすばらしい川でした。それが人の手を入れる、たびに悪くなって行きました。(安野橋下流) (内久保) 等、長年鮎釣してると、それが良く解ります。川にはゴリ、ハエ、イダ(ウダイ)の姿が少なくなっています。川が元の姿になるのは無理だと思う。これからは自然をこわす前に皆で考えて行く事が必要ではないか。

◆アユ釣りについて

遊川料をもう少し安くして欲しい。
アユの放流量が減ったので増やして欲しい。
日本一高い遊川料。
入川料が高すぎる。40年前に比べて川が浅くなって深みがなくなって魚が減っている。
電線がひくくてさおがおれる。
魚の放流量を増やして欲しい。
魚の放流量を増やして欲しい。
美山川プロが多いのでマナーを守って欲しい。
天然のアユを放流して欲しい。
アユの放流量を増やしてほしい。
アユの放流量をふやしてほしい。
アユの放流をふやしてほしい。
アユの日券が高すぎる。
アユが釣れるようにしてほしい。
せつとう犯(アユ)が多すぎる。
もっと鮎を放してほしい。
入漁料にプラスで負担(問6~8)は嫌。
放流方法(放流する場所)を考えてやって欲しい。
まんべんなく放流してほしい。(場所)
利用マップがほしい。
(魚とりのポイント、おりやすい箇所など)
美山のアユは美味しいが、釣れない。(少なくなっている、以前よりも)
美山川のアユはおいしいですが、なかなか釣れません。楽しみにして来ていますが、疲れます。
年々、釣果も悪く、鮎の質がだんだん悪くなってきている。昔のような良い鮎が釣れるような環境を整えてほしいが、無駄なものは作らない方がよい。
地元住民と釣り客とうまく共存できるように何か対策をしてほしい。
釣り客が色々と車を駐車するなどで迷惑をかけていると思うので。
もっとたくさん魚を放流して欲しい。

美山川に関する意見 (5/5)

◆その他

道をまっすぐにして欲しい。
・ごみの処理について（土日でたくさんのごみが出るので困る）地域専用ゴミ袋のてきようを考えて欲しい。京都 45L=45円 50円ぐらいで販売しては？
・トイレが欲しい。
魚客のマナーの悪化。
観光客による環境の悪化が目立つ。
川を汚さないようにして欲しい。
車上あらしの話をよく聞くので対策をとってほしい。
日光をしのげる場所がもっとほしい。
トイレがほしい。
トイレをつくって欲しい。
木陰が少ない。
階段が危ない。
車を入れる場所が少ない。
植林地が多いので元の樹林に近くして欲しい。
auのアンテナを立てて欲しい。
auの電波がはいるようにしてほしい。
河川そのものの対策より周辺山林の土砂流入を止めるのが重要だ。二次山林（植林？）は台風による山腹の崩壊等が起きやすく、いつまでも根本的な解決にならない。しゅんせつ等は小手先の対応なので、子孫まで、影響があり、賛同できない。
もう少しトイレを整備してほしい。
自然のままで、あまり公園整備はしてほしくない。
公園などの人工的な整備はせず、今の状態を維持してほしい。
魚がすぐ見つけられて、水もきれいでおどろいた。
トイレを作ってほしい。
雑草などの手入れ。
路駐が近所迷惑になるので、駐車場などの整備。
シャワーなどの施設がほしい。
マナー（ゴミなど）を守って、キレイな環境を保ち続けてほしい。
美山川を美しく保つため、来訪者はマナーを守ると共にできる限り自然に近い状態で保って行ってない。
ゴミの始末について啓発を強化して欲しい。バーベキュー、鮎つり客のマナーが悪すぎる。

◆アンケートについて

カヌーや川を利用した自然体験活動などは、どちらかといえば、いわゆる都市市民の利用が多いと思う。それを地元の世帯全体で負担するのはおかしい、都市市民の利用に対する負担はどのようにするのか？カヌーなどは、「カヌー専用区域」を設けるなどして、利用料を徴収すればよい。特定のカヌー利用者のために世帯でいくらかの負担をする気はまったくない。
仮定の質問も都市市民のニーズから出発しているように思えてならない、地元住民のニーズから出発しているのでしょうか？
もし、事業が実施されるとしたら「多様な生態系の保持」を最優先で。
美山川限定だけでなく、もう少し広域での意見集約が必要では、堰は水田利水に必要です。人工魚道の工夫も必要ではあると思う、でも、自然であるという事が一番であると思います。
私達の子供の頃は水もきれいで自然に恵まれた中で育った。
現在、下水道の普及か？観光客のモラルの低下か？地球温暖化の影響か？美山川の汚染度も高いように思う。
美山川の環境保全は早急に国が実施すべきと思う。アンケートの内容は在住者に不向きな点が多い。（解答しにくい点あり）
府の事業なのに区長さんや振興会を使って…回収とは。府の職員の方が自ら回収にまわって下さい。みなさんいそがしいのですから。もっと動いて下さい。
書いても無意味なので書きません。

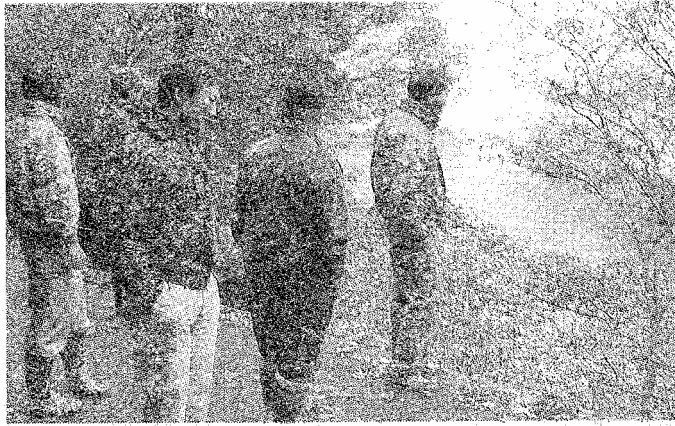
4) 新聞記事

郵便物認可

京 都 新 聞 第 一 版

アユ泳ぐ美山川守れ

南丹市や 漁協など 流域整備へ 現状視察



美山川の最上流を視察する美山漁協や行政関係者ら
(南丹市美山町芦生)

川のふちが土砂で埋まり、名産アユの成育に支障が出ている南丹市美山町の美山川(由良川上流域)の整備に向けて、府と南丹市、

美山漁協の関係者が二十七日、流域の現状を視察した。美山川はアユが全国的に有名で、流域に残るかやぶき屋根の民家

とともに、川の風景が昔ながらの山里の景観をつくっている。しかし近年、上流からの土砂でふちが埋まり、アユが住みにくくなったり、河原の美しさが損なわれている。

このため、地元関係者らが「美山川やすらぎの川づくり検討委員会」を設立。今夏、流域住民や釣り客、観光客を対象にアンケート調査を実施し、結果を基に十月に第一回の会議を開くなど、川の整備に向けて意見を集約してきた。

整備は、上流の田地区から下流の安掛地区までの約十六キロを想定。ふちを埋めている土砂を取り除くほか、

魚が回遊できる魚道を改修し、行楽客らが河原に出られる道も設置する、という。府南丹土木事務所では、同委員会の意見を聞きながら、二〇〇九年度から整備に着手したい、としている。
(井上年央)